

# 同じ言葉でも…

5年道徳 7月 3Q (1時間)  
 附属新潟小学校 教諭 劔 仁美

## 1 目指す姿

○ 相手が置かれている状況を考えて、自己の生き方について考えを深める子ども

具体的には、

【直接言う】

試合が終わって、直接「また一緒にがんばろう」と元気づけるような言葉をいいます。健太のことが心配だから、直接励ました方がよいと思うからです。

【メールで言う】

悟と同じようにメールをします。でも、「大丈夫?」「元気出して、また一緒にがんばろう」と健太が元気になるようなメールを送ります。

【そっと傍にいる】

自分が悟だったら、何も言えないかもしれません。何も言わずに傍にいます。健太の気持ちを考えたら、何と声をかけてよいか分からないからです。でも、傍にいようと思います。

と考える姿。具体的な行為は様々だが、相手が置かれている状況や気持ちを考えて行為を選択し理由を述べている姿。

## 2 育む資質・能力

	①知識や技能	②ツール活用能力	③見方や考え方	④態度
道徳	○友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、互いを理解しながら人間関係を築いていくこと	○友達の考えと自分の考えが比較できる表(板書)	○物事を多面的・多角的に考える ○経験に基づいて考える考え方	○よりよい解決に向けた態度
社会			○社会的事象を多角的に考える	

## 3 資質・能力の関連

[第5学年] 社会  
 ~日本にはなぜ四季があるの?~



[第5学年] 道徳  
 ~同じ言葉でも…~

## 4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
一 次	<p>【友情, 信頼について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達なら、少しくらいきつい言葉でも分かり合えていけばよい。</li> <li>・友達を元気づけるときには、優しい言葉を掛けてあげるとよい。</li> </ul> <p>○ 教材の場面をきっかけにして、友達について既存の経験を想起する。</p> <p>○ 悟と健太の関係について考える。</p> <p>○ 親友みたいで、いいなと思います。お互いに全部が分かり合えている感じがするからです。</p> <p>○ お互いに分かり合っている友達はいいなと思います。お互いが分かり合えているから少しくらいきつい言葉でも大丈夫だと思っています。                      ☆資質・能力 道①</p>	<p>◆ 教材の前半部分を読み聞かせ、悟と健太の関係を問う。                      【働き掛け1】</p> <p>○ 友達についての個々の価値観を表出させる。</p> <p>※教材文は与えず教材の場面を読み聞かせる。</p>	

○ 教材の後半場面を知り健太の気持ちを考える。

**○ このメールじゃダメだよ。**  
★資質・能力 道③

- ・すごく嫌だったのだと思います。だって、試合でミスをして自分のせいで負けたと思っているときに、こんなメールをもらったら余計に傷つくと思うからです。
- ・すごくショックだったと思います。親友だと思っていたのに、ミスをしてショックなときに、ひどい言い方をされたからです。

○ 悟の行為の問題点を考える。

**○ 【メールをしたことが問題だ】**  
大事な試合でミスをして落ち込んでいていつもと違うのだから、いつも話しているのと同じようにメールをしちゃダメだと思います。

**○ 【メールの内容が問題だ】**  
メールをするにしても、こういう言葉ではダメだと思います。ミスをしてショックを受けているはずだから、「元気出して」「そういうこともあるよ」とか励ましの言葉が必要だと思うからです。その方が、健太は傷つかなかったと思います。

**○ 【タイミングが問題だ】**  
試合が終わったときに声を掛けなかったのが問題だと思います。そのときに直接、声を掛けてあげた方が健太の気持ちは少し楽になると思うからです。

★資質・能力 道③社③

○ 行為と理由が板書された表を見て悟の問題点を考える。

★資質・能力 道②

**○ メールであっても、メールじゃなくても、どちらにしても健太の気持ちを考えていなかったことが問題だったのだと思います。**

○ 自分だったらどうするかとその理由を考える。

**○ 試合が終わって、直接「また一緒にがんばろう」と元気づけるような言葉をいいます。健太のことが心配だから、直接励ました方がよいと思うからです。**

**○ 悟と同じようにメールをします。でも、「大丈夫?」「元気出して、また一緒にがんばろう」と健太が元気になるようなメールを送ります。**

★資質・能力 道④

○ 教材の後半場面を提示する。  
※メールの画面を提示する。

◆ 教材の後半場面を提示し、健太の気持ちを問う。

【働き掛け2】

○ なぜ、健太の様子がおかしくなったのかを考えさせる。

※提示した後のつぶやきを拾い、なぜそのように思ったのか問う。

◆ 悟の行為の問題点を問う。

【働き掛け3】

※ワークシートに記述させる。

※子どもは、「メールが問題だ」「メールの内容が問題だ」「タイミングが問題だ」という立場で議論をする。

※立場と理由が明確になるように、分類整理して板書する。

◆ 同じような場面に出合ったら、自分だったらどうするかと問う。

【働き掛け4】

※ワークシートに行為とともに理由も記述させる。